

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成24年度】

(①歴史・文化施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	27	施設名	掛川市文化会館シオーネ		担当課名	社会教育課
区分			内容・説明			
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市文化会館シオーネ設置条例				
	(2)施設設置目的	市民の芸術及び文化の向上並びに福祉の増進を図るため				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	大ホール(652席)、小ホール(200席)、楽屋5、大会議室(100席)、小会議室(14席)、和室(30席)、団体交流室、展示ロビー、野外ステージ				
	(4)施設建設年度	平成10年度				
	(5)耐震性能の有無	有				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	屋根及び外壁改修(H26年頃 約6,000万円)	給水ポンプ・電気温水器交換(H27年 約400万円)			
		内部床・壁改修(H28年頃 約3,600万円)	受水槽交換(H34年頃 約1,100万円)			
		外壁等塗装(H30年頃 約2,300万円)	空調設備改修(H27年頃 約3,800万円)			
		電気設備改修(H27年頃 約600万円)	舞台設備改修(H29年頃 約31,600万円)			
	(7)指定管理者名	公益財団法人掛川市生涯学習振興公社				
	(8)指定期間	平成23年4月1日 から 平成28年3月31日 まで				
	(9)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度				
	(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。				
(11)指定事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。					
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成24年度)					

区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	119,321	98,866	98,074		※利用件数(H22:1,925件、H23:2,149件、H24:2,252件)	
	施設・設備ごと	大ホール	33,753	31,137	31,669		
		小ホール	18,208	16,748	20,087		
		楽屋	1,671	815	3,147		
		スタッフルーム	304	137	552		
		稽古場	2,780	2,763	2,929		
		大会議室	10,493	9,369	9,829		
		小会議室	1,992	3,934	1,642		
		和室	2,771	2,159	2,838		
		展示ホール	45,321	30,251	21,941		
野外ステージ	2,028	1,553	3,440				
(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓	
施設・設備ごと	大ホール	A平日昼間			21.0%	利用日数/運営日数	
		B平日夜間			15.2%	〃	
		C土日祝昼間			29.1%	〃	
		D土日祝夜間			12.2%	〃	
	小ホール	A平日昼間			51.1%	〃	
		B平日夜間			53.7%	〃	
		C土日祝昼間			32.0%	〃	
		D土日祝夜間			31.7%	〃	

2 利用状況	稽古場	A平日昼間			19.7%		〃
		B平日夜間			47.8%		〃
		C土日祝昼間			29.4%		〃
		D土日祝夜間			22.0%		〃
	大会議室①	A平日昼間			45.9%		〃
		B平日夜間			28.1%		〃
		C土日祝昼間			23.3%		〃
		D土日祝夜間			19.4%		〃
	大会議室②	A平日昼間			34.3%		〃
		B平日夜間			19.7%		〃
		C土日祝昼間			22.6%		〃
		D土日祝夜間			17.1%		〃
	小会議室	A平日昼間			27.1%		〃
		B平日夜間			22.3%		〃
		C土日祝昼間			14.8%		〃
		D土日祝夜間			6.7%		〃
	和室	A平日昼間			23.3%		〃
		B平日夜間			24.2%		〃
		C土日祝昼間			20.0%		〃
		D土日祝夜間			9.0%		〃
展示ホール	A平日昼間			14.2%		〃	
	B平日夜間			14.2%		〃	
	C土日祝昼間			10.6%		〃	
	D土日祝夜間			9.0%		〃	

		野外ステージ	A平日昼間			0.3%		〃
		野外ステージ	B平日夜間			0.0%		〃
		野外ステージ	C土日祝昼間			0.9%		〃
		野外ステージ	D土日祝夜間			0.6%		〃
区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		312	539	531			
	(3)運営日数		315	330	309	308		
	(4)運営人員	①正規職員	5.0	4.0	4.0	4.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	3.0	2.0	3.0	3.0		

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	23,229,277	38,382,090	38,675,199	37,477,000	
	②印刷費	2,315,745	1,827,336	1,575,287	1,900,000	
	③通信費	1,221,629	1,139,630	992,391	1,155,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	16,200	27,355	38,199	100,000	
	⑤借上料	7,332,019	7,988,694	8,309,479	6,460,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	1,603,239	3,270,070	2,449,992	6,310,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	1,542,976	683,757	0	500,000	手数料・通信運搬費
	計	37,261,085	53,318,932	52,040,547	53,902,000	
	対前年度増減率			43.1	△ 2.4	3.6
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①管理委託費(外注費)	34,908,909	34,023,160	32,695,907	34,585,000	

(2)施設コスト(B)	舞台操作業務委託	14,469,000	13,003,200	12,549,600	12,550,000	
	音響設備保守	756,000	756,000	719,250	720,000	
	照明設備保守	808,500	808,500	766,500	767,000	
	清掃業務委託	3,868,116	3,683,064	3,683,064	3,684,000	
	空調設備保守	3,585,750	3,570,000	3,559,500	3,560,000	
	消防設備保守	367,500	367,500	367,500	368,000	
	その他	11,054,043	11,834,896	11,050,493	12,936,000	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	5,128,939	3,993,760	3,122,790	5,500,000	
	③光熱水費	12,353,641	12,771,530	12,011,117	13,800,000	
	④燃料費	2,265,903	184,701	167,147	300,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	1,262,987	52,500	0	
	⑦その他(施設消耗品)	1,333,532	2,075,069	3,093,540	4,113,000	
	計	55,990,924	54,311,207	51,143,001	58,298,000	
	対前年度増減率		△ 3.0	△ 5.8	14.0	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		93,252,009	107,630,139	103,183,548	112,200,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		40.0	49.5	50.4	48.0	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		9,774,520	10,719,025	10,041,390		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		26.2	20.1	19.3		

3 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	9,774,520	0	0	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	114,703,000	0	0	
収支差額 a) - b)	△ 104,928,480	0	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	10,719,025	10,041,390	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a) - 総コスト)	0	△ 96,911,114	△ 93,142,158	
c) b) に対する市の支出額(指定管理料)	0	104,000,000	102,000,000	

(3)指定事業及び自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	353,200	1,294,930	生涯学習センター、美感ホールと一体的な実施のためシオーネに一括計上
b) 指定事業の支出	0	353,200	1,294,930	生涯学習センター、美感ホールと一体的な実施のためシオーネに一括計上
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	942,800	550,229	生涯学習センター、美感ホールと一体的な実施のためシオーネに一括計上
d) 自主事業の支出	0	774,898	623,585	生涯学習センター、美感ホールと一体的な実施のためシオーネに一括計上
収支差額 c) - d)	0	167,902	△ 73,356	

4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)
<p>(1) 施設の収支差額の改善について</p> <p>【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。</p>	<p>平成23年度の利用料金制(併用制)採用前に比べ収入額は増加している。また、施設管理費について経費削減に努めたことにより前年度から減となっている。しかしながら、施設管理費に対する利用料金収入は約10%と他の施設に比べ低い状況にある。</p>	<p>指定管理者に対し、全体的なコスト削減はもちろん、高い割合となっている人件費の抑制を図るため、他の2施設(生涯学習センター、美感ホール)との連携した合理化により、適正な人員数、配置を求める。 また、今指定管理期間の終了までに、適正な利用料金であるかを調査し、利用件数の増加に比例して赤字が嵩む料金体制としないものにするほか、料金区分の見直しを図る(例:無料の貸室を有料とし収入増を図る。市内市外の区分の撤去により市外利用者の確保を図る。)</p>
<p>(2) 利用者数の増加について</p> <p>【行革推進係から】 一部の人がしか使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていませんか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？</p>	<p>利用者数は、利用の内容により上下があり比較は難しいが、毎年度施設利用件数は増加している。合併時の平成17年との比較で約40%の増、利用料金制採用前の平成22年度との比較でも約15%の増となっている。 ただし、一部に他に比べ利用率が低調な施設(貸室)がある。</p>	<p>指定管理者に対し、施設のPRを引き続き実施させるとともに、上記後段の一部に記載のとおり市外利用者を更に獲得するための料金区分の見直しを図る。 また、文化芸術分野の利用者が多い施設であることから、さらに増加を図るため、施設管理と文化振興とに別れた担当課を統合する。 さらに、個人を対象としたメンバーズクラブに法人を加入可能とし、施設利用(貸室)の優遇制度を設ける。</p>
<p>(3) 利用者の満足度向上について</p> <p>【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。</p>	<p>指定管理者による満足度調査では、利用者の約84%が良好な印象を抱いている。引き続き、利用者の要望、意見を可能な限り反映させ、より高い満足度を得ていく。</p>	<p>貸室事業と市の受託事業を優先していることから、自主事業は施設の空き状況を確認しながらとなるため、利用者が確保しにくい日程にならざるを得ない面もある。指定管理者には、イベントを実施することよりも施設の利用率向上に努めることを期待する。そのため、良好な施設環境と接遇の向上、施設PRを積極的に展開するよう指導する。</p>

5 その他自由意見

改善提案については、今後策定される市文化振興計画との調整が必要となる。